



小学校用『われらクリーン調査隊』授業2
「そうじ用具を正しく使おう」



ガイドー式



目 次

【全体の概要】	3
【授業 2】	
概要	6
授業進行ガイド	7
その他の掃除用具のポイント	10

われらクリーン調査隊

小学校対象 / 生活科・家庭科・総合的な学習の時間 / 1 時間(45 分) × 7 授業
※各授業は原則 45 分で完結していますが、2 時間連続での実施を推奨している授業もあります

●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてほしいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が 1 時間(45 分)で完結するように作成されています(授業 6・発展授業のみ 2 時間(90 分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業 1～授業 5
- ☑【応用編】授業 6～授業 7
- ☑【発展編】発展授業

の 3 段階 8 授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお勧めします。

●学習指導要領での位置づけ

【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

●**授業の構成** ※本授業の背景を色づけしています。

基礎・基本編

応用編

発展編

授業 1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

授業 2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方について学習できます。

授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> 掃除の大切さ、必要性がわかる 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除をしなければどうなるのかを考える 	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除用具の使い方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除の手順がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> どのようなものが掃除用具になるか考える 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える 	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える 	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 合格基準とは何かがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 見る人を意識した撮影ができる 気づいたことをワークシートにまとめられる
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える 	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 要点をまとめて整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ グループで協力して活動しようとする態度を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える

授業2 そうじ用具を正しく使おう

【対象：全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習します。ダスキンが提供する映像教材での学習や、実習を通して掃除用具の使い方に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげます。

進行概要

	min	概要
導入	5	普段の掃除用具の使い方を振り返り、用具の使い方を学ぶきっかけにする
展開 ①	15	ホウキの使い方 ・ホウキの正しい使い方を映像教材によって理解し、実習を通して習得する
〃 ②	20	ぞうきんの使い方 ・ぞうきんの正しい使い方を映像教材によって理解し、実習を通して習得する
まとめ	5	本日の振り返り

※本編では、ホウキ、ぞうきんの使い方を学習していますが、アレンジにより掃除機、モップの使い方の学習も可能です。

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	映像教材 (ダスキンが提案する掃除用具の使い方)	Microsoft® Media Player ™	6分23秒	掃除用具の基本的な使い方を学習する映像教材 (目的に応じた用具を選択し、ご活用ください)	教師
②	スライド教材 (そうじ用具を正しく使おう)	Microsoft ® PowerPoint®	17画面	掃除用具の基本的な使い方を学習する教材 (目的に応じた用具を選択し、ご活用ください)	教師

準備物

機材：
 ・PC（映像教材使用・スライド教材の準備）
 ・スクリーン
 ・スピーカー（映像音声のため）
 ・プロジェクター

その他：
 ホウキの学習： ・ホウキ（グループ数）
 ・ちりとり（グループ数）
 ・色付紙吹雪（適量 ※ゴミに見立てます）
 ぞうきんの学習： ・ぞうきん（児童数分）
 ・水の入ったバケツ（グループ数）
 掃除機の学習： ・掃除機
 モップの学習： ・モップ

「そうじ用具を正しく使おう」授業進行ガイド

※本進行ガイドは、「ホウキ・チリトリの使い方」「ぞうきんの使い方」をもとに作成しています。

映像教材には「掃除機」「モップ」の使い方も用意していますので、展開①②を目的の用具に変更し、授業でご活用ください。

	進行用スライド		流れ
<p>導入 5分</p>		<p>ねらい 進行・教師の投げかけ</p>	<p>●活動の目的を明確にし、見通しを持たせる</p> <p>【発問】 ・学校で掃除をするとき、どんな掃除用具を使っていますか？</p> <p>【説明】 ・掃除用具は正しく使わないと、汚れをきれいに取ることができませんね。今日は掃除上手になるために、掃除用具の正しい使い方を勉強しましょう。</p>
<p>展開① 15分</p>		<p>ねらい 進行・教師の投げかけ</p>	<p>●映像教材「ダスキンが提案する掃除用具の使い方」を見て、ホウキの正しい使い方を理解する</p> <p>【準備】 ・机を後ろに下げ、ホウキの使い方を練習するスペースをつくり、掃くための紙吹雪をまく ・児童は教師の周りに集まる</p> <p>ホウキとチリトリの使い方編</p> <p>【活動】</p> <p>①教師によるホウキのはき方・ゴミのとり方の「悪い例」を見せる(大げさに) ・今からホウキを使ってゴミをとります。しっかり見ていてください ※ゴミを見ずに掃く、ゴミを巻き上げて掃く、ホウキを振り回し大切に扱っていない、遊びながら掃くなどの悪い例を見せる</p> <p>・今の掃き方はどうでしょう？ そうですね。良い掃き方ではありませんでしたね。どこが悪いと思いますか？ ・では、どうすれば良くなると思いますか？ ※児童に意見を聞き、実際に教師が「良い例」を見せる</p> <p>②掃除用具の使い方映像を視聴させ、ホウキの使い方、チリトリの使い方のポイントを確認させる ・先生の例も見てもらいましたが、ホウキとチリトリの使い方についてまとめた映像があるので、見ましょう。何がポイントか後で確かめるので、よく見てくださいね。</p> <p> ・ホウキの使い方を映像で見る。(約1分3秒) ・チリトリの使い方を映像で見る。(約37秒) ※映像は最初から見ると2分30秒あります。</p> <p>③掃除用具の使い方のポイントを発表させる ・ホウキで掃くときや、チリトリでゴミをとるときには、どんなポイントがありましたか？</p> <p>●ホウキのポイント！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち方を確認する ・手を肩幅に広げ、上下に向かい合わせにもつ ・モップのように掃く(押す)のではなく、ゴミを確認しながら集める ・ホウキを勢いよく動かさず、押さえるようにはく(押さえばき) ・ホコリをまいあげない ・狭いところから広い所へ掃く ・掃き出したゴミやホコリをできるだけ踏まないようにして、掃きながら前へと進む ・できるだけ床の板目にそって掃く <p>※ホウキには向きがあるものもあるので、注意すること</p>

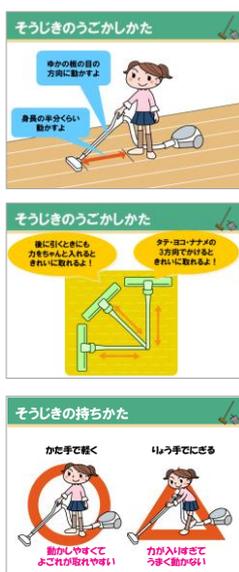
	<p>チリトリのつかいかた</p> <p>●チリトリのうしろを少し持ち上げます ●チリトリにゴミを入れます ●チリトリをうしろに少しずつ押し進めます</p>	<p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●チリトリのポイント！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを取るときは、チリトリの後ろを少し持ち上げる ・ホウキでチリトリにゴミを入れる⇒チリトリを少しずつ後ろにずらしていく…と <p>いうことを繰り返す</p>
	<p>チリトリのつかいかた</p> <p>●チリトリのうしろを少し持ち上げます ●チリトリにゴミを入れます ●チリトリをうしろに少しずつ押し進めます</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●実習を通じて、ホウキ・チリトリの使い方の基礎・基本を楽しく身につける</p> <p>※再度、ゴミをとることが実感できるように、紙吹雪をご準備ください</p> <p>【活動】</p> <p>①映像のポイントを振り返りながら、教師が実演で示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいホウキの使い方、チリトリの使い方スライドを提示して確認する <p>②児童に用具の使い方のポイントを意識させながら、実習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見たように、ポイントを意識して、班ごとに2人ペアでホウキとチリトリをやってみましょう。前に出てきているポイントができていないか、班の人は見て言ってあげてくださいね ・実習後、ゴミをきれいに取ることができたか、何人かに感想を発表させる <p>③実習が終わったら、用具入れに片づけるまでが重要であることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が終わった後のホウキはどうしますか？ <p>※掃除用具入れの中にどのように片づけるかを、教師が実践して見せる</p> <p>※管理の仕方(ホウキをつるす、ホウキの毛先を上に向けて立てかける等)は各学校に合わせてください</p>
<p>展開②</p> <p>20分</p>	<p>ぞうきんのつかいかた</p> <p>ぞうきんは ふだんどうやって使っているのかな？</p> <p>正しいつかいかたを見てみよう</p> <p>えいぞうでかくにん</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●映像教材「ダスキンが提案する掃除用具の使い方」を見て、ぞうきんの正しい使い方を理解する</p> <p>ぞうきんの使い方(拭き方、洗いや、絞る方)編</p> <p>【活動】</p> <p>① 普段のぞうきんの拭き方、洗いや、絞る方を振り返らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんの使い方を確かめます。普段どのように拭いていますか？ぞうきんで拭き始めるところから、片付けるところまでやってみてください。 <p>※児童1人に拭かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か気づいたことはありますか？ ※見ていた児童に発言させる <p>②掃除用具の使い方映像を視聴させ、ぞうきんの使い方のポイントを確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では正しい使い方を映像で見ましょう。何がポイントか後で確かめるので、よく見てくださいね。 <p> ・ぞうきんの使い方を映像で見る(約2分)</p> <p>③掃除用具の使い方のポイントを発表させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんを使うときには、どんなポイントがありましたか？

		進行・教師の投げかけ	<p>●ぞうきんのポイント！</p> <p>【拭き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきんを手のひらサイズに合わせて、2つまたは4つに折る ・机のまわりをふいた後、全体を拭きあげる ※カタカナのコの字を書くようにジグザグに拭く 最後に机の縁の部分も拭く <p>【ぞうきんの洗いかた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツの中で、ぞうきんの端または真ん中を持って、振り洗いをする ・汚れの多いところはこすり合わせて洗う ※シンクで洗う場合はぞうきんを広げて、端を押さえて、もう一方でぞうきんの端を持ち、こすり合わせて洗う <p>【ぞうきんの絞りかた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片方の手でぞうきんの端を持ち、もう一方の手でぞうきんを上から下にしごき、水をきる。 ・ぞうきんを2つに折り重ね、棒状にする ・綱引きの綱を握るように持ち、両肘を寄せるように握った手を内側に絞る（たて絞り）ことで、水分を効率よく絞ることができる
		ねらい	<p>●実習を通して、ぞうきんの使い方の基礎・基本を楽しく身につける</p>
まとめ 5分		進行・教師の投げかけ	<p>【活動】</p> <p>【準備】バケツに水を入れておく</p> <p>①映像のポイントを振り返りながら、教師が実演で示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ぞうきんのしぼり方スライドを提示して確認する <p>②児童にぞうきんの使い方のポイントを意識させながら、実習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像で見たように、ポイントを意識して、班ごとにぞうきんの洗いかた、絞りかたをやってみよう。ポイントができていないか、班の人は見て言ってあげてください。 ★ここでぞうきんをぬらして練習を行います。 ※実習後、うまく洗って絞ることができたか、何人かに感想を発表させる <p>③実習が終わったら、片づけるまでが重要であることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除が終わった後のぞうきんはどうしますか？ ※ぞうきんを干す場所を示し、自分のぞうきんは自分で管理することを指導する
		ねらい	<p>●本時の内容を振り返る</p>
		進行・教師の投げかけ	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、学校の教室をきれいにするための掃除用具の使い方を勉強しました。毎日の掃除時間中に、学んだことができるようにがんばりましょう。 ※児童に感想を聞く ※これからの掃除への期待を高めるように動機付ける <ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことは、ぜひ家でもやってみましょう。おうちの人に教えてあげて、一緒にするのもいいですね！ ※お家の人に学習したことを伝えるようにうながす ※毎日テーブルをふきんで拭くという宿題を出してもよいでしょう

その他の用具のポイント

ホウキ以外の掃除用具の使い方のポイントをまとめました(すべて映像教材があります)。ご活用ください。

🗑️ **そうじき編 (映像教材 約 50 秒)**

<p>●ポイント</p> <p><かけ方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローリングや畳の場合 板の目にそった方向に動かすと、ゴミがうまくとれます。 ・カーペットの場合 タテ・ヨコ・ナナメの 3 方向でかけ、後に引くときにも力を入れることで、ゴミがうまくとれます。 <p><動かし方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身長の中分くらいの距離を動かすと上手にかけられます。 ・掃除機の吸い込み口は、床に強く押し付け過ぎないように、ゆっくりと前後に動かします。 ・ゆっくり動かすほど、吸いとるゴミの量は多くなります。 <p><持ち方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・片手で軽く持つと動かしやすいです。 (両手だと力が入りすぎ、動かしづらい場合があります。) 	<p><スライド教材></p> 
<p>●注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまったゴミはこまめに捨てましょう。 	

🗑️ **モップ編 (映像教材 約 25 秒)**

<p>●ポイント</p> <p><使い方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚や机の上を拭くとき ゆっくり軽く動かすとホコリがよくとれます。 ・床の上を拭くとき 板目にそって力を入れずに軽く動かします。 できるだけモップは最後(出口)まで持ち上げないようにします。 	<p><スライド教材></p> 
<p>●注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モップについたホコリは、掃除機で吸うなどこまめにとりましょう。 	